

たたき台の修正箇所について

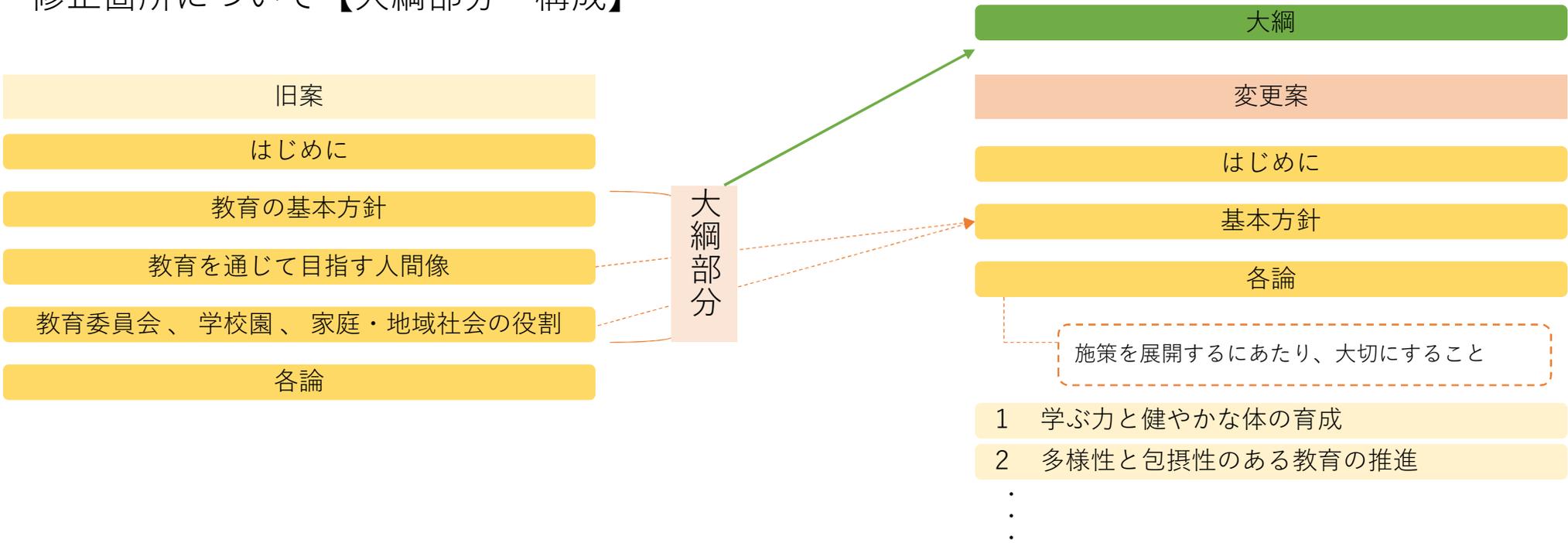
令和6年10月15日

目次

1 修正箇所について

【大綱部分・構成】	3 ページ
【はじめに】	4 ページ
【基本方針等の旧案】	5 ページ
【基本方針等の変更案】	6 ページ
【各論】 施策を展開するにあたり、大切にすること	7 ページ
【各論】 非認知能力の向上	8 ページ
【各論】 いじめ防止に係る成果指標	9 ページ
【各論】 前回の審議会での意見への対応	10 ページ～11 ページ
【各論】 アンケート結果を踏まえた対応	12 ページ

1 修正箇所について【大綱部分・構成】



・教育大綱を別途策定することにより、構成を変更します。

- ①「はじめに」は、教育大綱を踏まえ、文言を修正します。また、計画の位置づけを追記しています。
- ②「教育の基本方針」は、3つの柱を文章に統合し、複雑になっていた構成を解消します。
- ③「教育を通じて目指す人間像」「教育委員会、学校園、家庭・地域社会の役割」は、教育大綱との整合性を図りながら、「基本方針」へ統合します。

1 修正箇所について【はじめに】

旧案

【はじめに】

これまで本市では、学力向上や教育環境の整備に向けて様々な取組を積極的に進めてきました。一方、私たちを取り巻く社会は少子化やグローバル化、デジタル化の進展など、大きく変化しており、学校現場において求められる学びの変容や地域の繋がり希薄化など身近な環境で課題が生じています。特に前計画期間中には新型コロナウイルス感染症の拡大により、こうした課題がより顕在化するとともに、学校の役割は単なる学習の場所ではなく、児童生徒の居場所であるということが再認識されました。

複雑化・多様化する社会にあって、家庭・地域が担うべき役割を踏まえつつ、学校園を核とした、地域とともにある学校づくりを進め、地域の教育力を向上させることが重要です。

生涯にわたって学び続ける人材を育成し、持続的可能な未来社会を創り出すため、この教育大綱において、本市の教育行政を推進する基本的な考え方を次のとおり示します。

- 1 教育の基本方針
- 2 教育を通じて目指す人間像
- 3 教育委員会、学校園、家庭・地域社会の役割

変更案

【はじめに】

私たちを取り巻く社会は少子化やグローバル化、デジタル化の進展など、大きく変化しており、学校現場において求められる学びの変容や地域の繋がり希薄化など身近な環境で課題が生じています。特に前計画期間中には新型コロナウイルス感染症の拡大により、課題がより顕在化するとともに、学校の役割は単なる学習の場所ではなく、児童生徒の居場所であるということが再認識されました。

今後さらに大きく変化していく社会を担っていく人材を育てることがわれわれの責務です。一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できるように、個に寄り添った教育を推進します。こうした「教育は未来への先行投資である」という前提のもと、本計画においては、本市の教育の今後5年間の方向性を示します。

「基本方針」は、本市の教育行政を推進する基本的な考え方です。これを踏まえ、7つの各論において、テーマごとにこれまでの取組を振り返ったうえで、今後の方向性を示します。

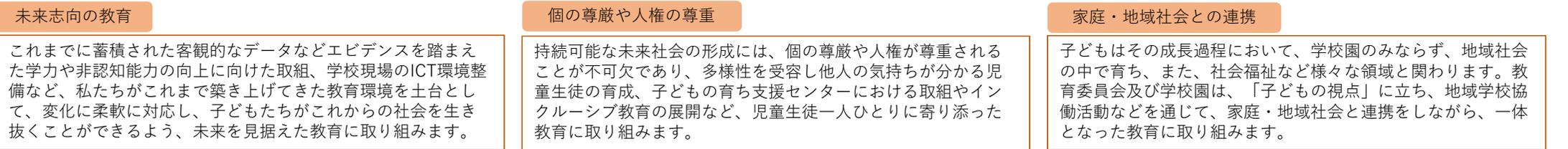
1 修正箇所について【基本方針等の旧案】

【基本方針】

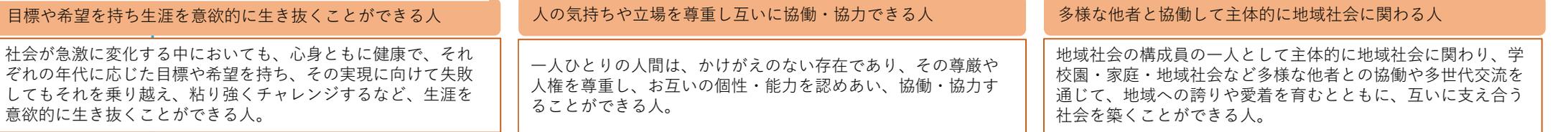
これからの子どもたちは、新たな困難や課題に直面しながら、それを乗り越えて、未来社会を創っていくという重要な役割を担っており、変化に受け身ではなく、主体的かつ柔軟に他者と協働し問題を解決するといった能力や新しい社会を創り出す力が今後一層求められます。

また、多様性を認め合うことがより求められる中、誰一人取り残されることなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる、ウェルビーイングの向上を図っていく必要があります。

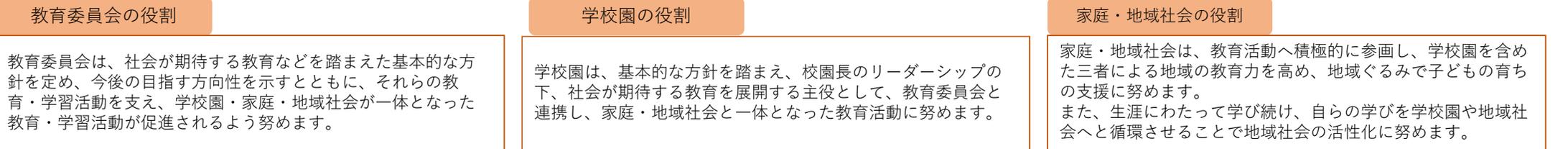
「教育は未来への先行投資である」という認識のもと、3つの柱を基本に据えながら、教育行政を着実に実行していきます。



【教育を通じて目指す人間像】



【教育委員会、学校園、家庭・地域社会の役割】



1 修正箇所について【基本方針等の変更案】

【未来志向の教育】
 これからの子どもたちは新たな困難や課題に直面しながらも、目標や希望を持ち、生涯を意欲的に過ごし、未来社会を創っていくという重要な役割を担っています。変化に受け身ではなく、主体的かつ柔軟に他者と協働し問題を解決する能力や新しい社会を創り出す力が今後一層求められます。私たちがこれまで築き上げてきた教育環境を土台として、変化に柔軟に対応し、子どもたちがこれからの社会を生き抜くことができるよう、未来を見据えた教育に取り組みます。

【個の尊厳や人権の尊重】
 また、多様性を認め合い、共生していくことがより求められる中、人の気持ちや立場を尊重するとともに、誰一人取り残されることなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる、ウェルビーイングの向上を図っていく必要があります。特に学校教育においては、子どもたちが持てる力の最大限を発揮できるよう、個々の置かれている状況や能力に応じた教育を提供します。

【家庭・地域社会との連携】
 さらに、複雑化・多様化する社会にあって、家庭・地域が担うべき役割を踏まえつつ、学校園を核とした、地域とともにある学校づくりを進め、地域の教育力向上を目指します。



未来志向の教育

これまでに蓄積された客観的なデータなどエビデンスを踏まえた学力や非認知能力の向上に向けた取組、学校現場のICT環境整備など、私たちがこれまで築き上げてきた教育環境を土台として、変化に柔軟に対応し、子どもたちがこれからの社会を生き抜くことができるよう、未来を見据えた教育に取り組みます。

個の尊厳や人権の尊重

持続可能な未来社会の形成には、個の尊厳や人権が尊重されることが不可欠であり、多様性を受容し他人の気持ちに分かる児童生徒の育成、子どもの育ち支援センターにおける取組やインクルーシブ教育の展開など、児童生徒一人ひとりに寄り添った教育に取り組みます。

家庭・地域社会との連携

子どもはその成長過程において、学校園のみならず、地域社会の中で育ち、また、社会福祉など様々な領域と関わります。教育委員会及び学校園は、「子どもの視点」に立ち、地域学校協働活動などを通じて、家庭・地域社会と連携をしながら、一体となった教育に取り組みます。

【教育を通じて目指す人間像】

目標や希望を持ち生涯を意欲的に生き抜くことができる人

社会が急激に変化する中においても、心身ともに健康で、それぞれの年代に応じた目標や希望を持ち、その実現に向けて失敗してもそれを乗り越え、粘り強くチャレンジするなど、生涯を意欲的に生き抜くことができる人。

人の気持ちや立場を尊重し互いに協働・協力できる人

一人ひとりの人間は、かけがえのない存在であり、その尊厳や人権を尊重し、お互いの個性・能力を認めあい、協働・協力することができる人。

多様な他者と協働して主体的に地域社会に関わる人

地域社会の構成員の一人として主体的に地域社会に関わり、学校園・家庭・地域社会など多様な他者との協働や多世代交流を通じて、地域への誇りや愛着を育むとともに、互いに支え合う社会を築くことができる人。

【教育委員会、学校園、家庭・地域社会の役割】

教育委員会の役割

教育委員会は、社会が期待する教育などを踏まえた基本的な方針を定め、今後の目指す方向性を示すとともに、それらの教育・学習活動を支え、学校園・家庭・地域社会が一体となった教育・学習活動が促進されるよう努めます。

学校園の役割

学校園は、基本的な方針を踏まえ、校園長のリーダーシップの下、社会が期待する教育を展開する主役として、教育委員会と連携し、家庭・地域社会と一体となった教育活動に努めます。

家庭・地域社会の役割

家庭・地域社会は、教育活動へ積極的に参画し、学校園を含めた三者による地域の教育力を高め、地域ぐるみで子どもの育ちの支援に努めます。また、生涯にわたって学び続け、自らの学びを学校園や地域社会へと循環させることで地域社会の活性化に努めます。

1 修正箇所について【各論】施策を展開するにあたり、大切にすること

- 第1回目の審議会でお示しをした「どの各論をとっても押さえておくべきポイント、重視する視点」について
これまでの議論やアンケート結果を踏まえ、下記の内容で設定します。

基本方針に沿って施策を展開するにあたり、 次のことを大切にします

1. 一人ひとりに寄り添うこと

子どもたちの状況や能力に応じた教育を提供し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できるように支援します

2. 挑戦を後押しすること

子どもだけでなく、市民や教員の挑戦を後押しします。特に教員一人ひとりの専門性を発揮した取組を支え、市立学校園で相乗効果を生み出します

3. 共有と発信で進化すること

情報発信や対話を通じて、絶えず施策を振り返り、改善します

1 修正箇所について【各論】非認知能力の向上

●「非認知能力の向上」について、これまでの議論を踏まえ、下記の内容で追記します。

主な課題と今後の取組の方向性

【各論1-4】学びの基礎力・課題解決能力の育成

- ・人口減少や社会課題の複雑化が進む中、子どもたち一人ひとりが自らの人生を切り拓くためには、いわゆる学力だけではなく、知・徳・体をバランスよく育むことが必要です。
 - ・特に、困難・課題に直面したときや、失敗・挫折を経験したときに、**諦めない粘り強さや感情のコントロールなど、自らを調整する力とともに、他者と協働する際に他者の状況や気持ちに目を向け、気持ちを共有したり、理解したりする力**が重要です。
- こうした力を育成するためには、教師と児童生徒、児童生徒同士の関わり合いに加えて、地域社会での体験活動等の様々な場面でのリアルな体験を大切に、**学校教育活動全体の中で子どもたちが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重**しながら、多様な人々と協働しつつ様々な課題を解決する取組が重要です。
- ・教育委員会としても、教育実践を支援するとともに、特色ある実践例や効果のあった指導・取組例を共有するなど、教員が状況に応じてそれぞれの専門性を活かしながら、子どもたちを育てることができるよう研究を進めます。



成果指標についても、検討しており、設定をする予定です。
非認知能力については、様々な側面があり、**赤字で記載しているような力が特に重要である**と考えています。
こうした力をつけるためには、学校でしか提供できないリアルな体験を通して、
自分のよさや可能性を認識すること、他者を価値のある存在として尊重することが重要であることから、
「自分を価値ある存在として認めているか」、「自分とは異なる考え方や意見を理解しようとするか」を
測る指標を設定したいと考えています。

例)
自分には良いところがあると感じている児童生徒の割合

例)
まわりの人の意見や考えを聞き、
自分の意見や考えをさらに良いものにしようとしていると考える児童生徒の割合

1 修正箇所について【各論】いじめ防止に係る成果指標

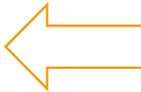
●いじめ防止に係る成果指標について、これまでの議論を踏まえ、再設定をします。

いじめの防止にあたっては、お互いを認め合い、安心して授業や学校生活を送ることができる風土が重要であることから、学校（学級）風土を測る指標を設定することを検討しています。



(案)

私たち（属している集団）はお互いを大切にして、安心して発言・行動（挑戦）ができる
といった主旨の質問



成果指標の検討にあたっては、学校風土尺度を参考としています。その中から、特に重要であると考え「お互いを認め合う」視点の指標を抽出しています。

- ・学校が好きである
- ・私の学校生活はうまくいっていると思う
- ・学校では、しっかりやることを期待されている
- ・学校には、行動についてのはっきりとしたルールがある
- ・先生たちは私を大切にしてくれる
- ・私の学校では、よい行動に注目してもらえる
- ・私は、他の子たちと仲良くしている
- ・私は、学校が安心・安全だと感じる
- ・子どもたちは、お互いを大切にしている
- ・私の学校には、必要があれば助けてくれる大人がいる
- ・私のクラスのみんなは、先生たちが授業しやすいように行動している

1 修正箇所について【各論】 前回の審議会での意見への対応

No	審議会での意見	対応	
1	教員のICT活用に係る指標について、児童生徒目線の方が実態を測ることができるため、指標を変更してはどうか。	指標を変更します。 全国学力・学習状況調査で「授業でPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している」と回答をした児童生徒の割合小・中95%以上 (令和5年度時点 小86.3%、88.1%)	反映済 たたき台 28ページ
2	安全・安心でおいしい給食の提供に向けた環境整備について、空調整備が課題となっているのであれば、例えば空調整備率を指標にしてはどうか。	指標を設定します。 小学校の給食調理室の空調整備率 100% (令和6年度見込44%)	反映済 たたき台 29ページ
3	教員のやりがい向上や挑戦を後押しするといった視点から、施策のスクラップや風通しの良い職場づくりが重要。こういった視点の記述が必要ではないか。	追記します。	反映済 たたき台 31ページ
4	働き方改革について、特に管理職へのアプローチが必要ではないか。あわせて成果指標も変更を検討するべきではないか。	追記し、成果指標を変更します。	反映済 たたき台 32ページ
5	コミュニティ・スクールの成果指標について、「課題」の定義が分かれるのでは。	今後の取組の方向性の記載内容を修正します。	反映済 たたき台 33ページ
6	部活動の地域移行について、現状と目標が離れていることもあり、具体的な全体像が見えづらい。	記載内容を修正します。また、コラム記事も追加します。	反映済 たたき台 35ページ

1 修正箇所について【各論】 前回の審議会での意見への対応

No	審議会での意見	対応	
7	少年補導員について、非行の減少も踏まえ、負担軽減をするという前提も追記するべきではないか。	記載内容を修正します。	反映済 たたき台 36ページ
8	図書の貸出冊数について、成果指標の設定根拠が分かりづらい。	今後の取組の方向性の記載内容を修正します。	反映済 たたき台 38ページ

1 修正箇所について【各論】アンケート結果を踏まえた対応

No	アンケート結果	対応	
1	市民・保護者向けアンケートの「尼崎の教育で力を入れるポイント」の結果より、中学生世代の保護者は「確かな学力の育成」に力を入れるべきとの回答が多かった。	基礎学力の定着に関する記載に加え、発展的な学びに関する記載を追記します。	反映済 たたき台 10ページ
2	市民・保護者向けアンケートの「重要だと思うR6向け新規・拡充事業」の結果より、中学生世代の保護者は「地域クラブ活動」が重要だと思うとの回答が多かった。	本文を追記するとともに、コラム記事を追記します。	反映済 たたき台 35ページ
3	市民・保護者向けアンケートの「教育委員会では様々な情報発信を行っておりますがご存じですか」の結果より、教育委員会からの情報を受け取っている人の割合は低かった。	基本方針に沿って施策を展開するにあたり、大切にすることとして、「共有と発信で進化すること」という項目を追記します。	反映済 たたき台 7ページ
4	市民・保護者向けアンケートの自由記述より、「教師の質の向上が必要ではないか」との意見が多かった。	引き続き、教員向けの研修を充実させていくことを追記します。	反映済 たたき台 30ページ
5	市民・保護者向けアンケートの自由記述より、「トイレ改修を進めるとともに、体育館空調を設置してほしい」との意見が多かった。	本文を追記するとともに、コラム記事を追記します。	反映済 たたき台 26 27ページ
6	教員向けアンケートの「重要だと思うR6向け新規・拡充事業」の結果より、教員は不登校支援対策に係る施策を重要だと思うとの回答が多かった。	本文を追記するとともに、コラム記事を追記します。	反映済 たたき台 18ページ
7	教員向けアンケートの「あなたの超勤時間は」の結果より、以前から指摘されている通り「教頭」の超勤時間が多かった。	本文を追記します。	反映済 たたき台 32ページ